

5月18日にプランクトン調査(燧灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を死滅させる有害プランクトンであるシャットネラ属(アンティカ、マリーナ)の出現が低密度ながら確認されました(最高細胞密度 2 細胞/mL; 定点 KA25、26)。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・その他、小型珪藻類については低密度でした。
- ・燧灘沖合の表層水温は 17~19°C、溶存酸素(DO)は約 7~8 mg/L(表層~底層まで)で推移しています。

表：2021年5月18日有害・有毒プランクトン調査結果（海水1ミリリットルあたりの細胞数）

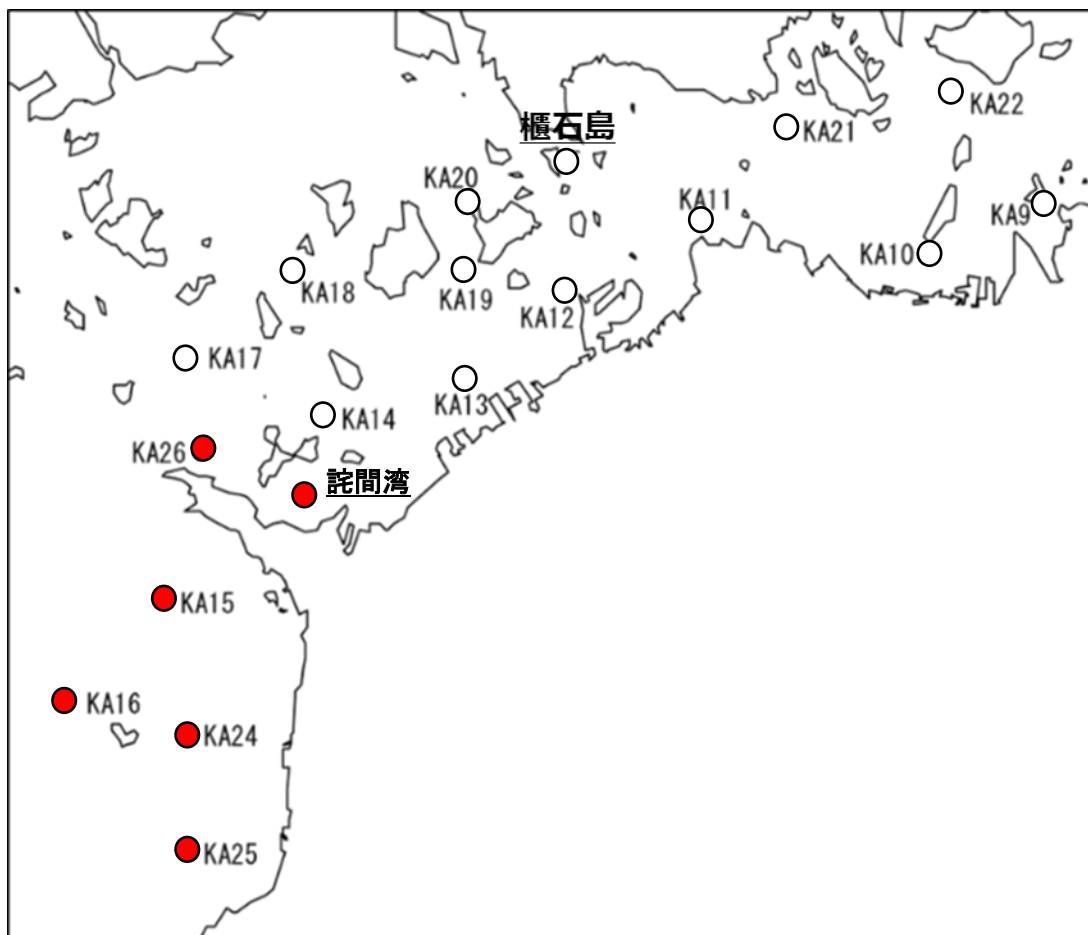
調査地点	水深(m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	カレニア・ミキモトイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	旧アレキサンドリウム・タマレンセ	旧アレキサンドリウム・カテネラ
KA15	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA16	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	<u>1</u>	0	0	0	0	0
KA24	0	<u>1</u>	<u>1</u>	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA25	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	<u>2</u>	0	0	0	0	0
KA26	0	0	<u>2</u>	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
詫間湾	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

【参考】調査定点（備讃瀬戸・燧灘）



* 赤潮定期調査（燧灘）は合計 6 定点（KA15、16、24～26、詫間湾）で行っています。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL